

大阪城残石

文化会館の前庭に大阪城残石が置いてある。この残石は、もと大津島にあった大阪城修築のための石で、毛利家の家紋が彫り込んでいる。

この石の大きさは長さ約3 m・縦1.3 m・横1.1 mある巨大なもので、当時運搬の苦勞の程がうかがえる。



人麻呂様

市道、松ヶ甲線入口に、万葉の歌人柿本人麻呂を祭ったほこらがある。約80 m北東の市道沿いの丘にあったが、宅地開発によりここに移設された。疫病と火災よけの神様として信仰され、昔は毎年8月にのぼりを立て、祭りが行われていた。

人麻呂様



金比羅宮

高尾山中腹付近に金比羅宮がある。金比羅の原語は、ワニで、インドのガンジス川のワニが人を食い舟を沈めていたが、仏に説法されて、ワニは改心し、仏法を守る神になったといわれる。

ワニが水との関係があることから、海上安全の神として、また農民の豊作を願う神として信仰されている。

昔は南向きの社殿と大きな神木があり、3月10日の祭日には奉納すもうも行われていた。鳥居に安永元年6月吉日と彫ってあり、南下に梅花川に注ぐ小さいみぞがあるので、この辺りを恋みぞ（こいみず）と言っていた。